徳島大学病院に新たなうつ病の治療の選択肢が増えました

rTMS治療

反復経頭蓋磁気刺激法

治療をお考えの患者様へ

反復経頭蓋磁気刺激（repetitive transcranial magnetic stimulation：rTMS）は規則的な刺激を連続して行うことができる治療法です。

日本でも2019年からうつ病の治療として保険適応が認められました。

適応について

18歳以上の中等症のうつ病患者で、

A. 1剤以上の抗うつ薬の至適用量を十分な期間服用しても、効果が認められなかった方

B. 抗うつ薬による副作用が顕著で、十分な薬物療法が継続できない

AかBのどちらかを満たす場合にrTMS治療の対象となります。基準は上記以外にも色々ありますので、主治医やかかりつけ医にご相談ください。

治療時間について

週5回で30回ほど治療を行います。1回の治療には40分ほどの時間が必要です。

初回治療時には位置の設定が必要なため、全部で1時間30分ほどかかります。

副作用について

まれに刺激部位の疼痛・不快感、けいれん発作などがみられることがあります。

かかりつけ医の方へ

私たちの施設では、日本精神神経学会の「rTMS適性使用指針」に基づいて治療を行います。

患者さんの適応判断も同指針に基いて行いますので、お手数ですが、指針の内容をご確認の上ご紹介をお願いいたします。

かかりつけ医に紹介状をもらう

↓

当科外来を受診する

↓

適応あり
入院待ちへ

適応なし
かかりつけ医へ

↓

入院(２ヶ月程度)
30回程度の治療を行います

↓

治療終了後はかかりつけ医へ

患者さん向け詳細

医療機関向け詳細

徳島大学病院 精神科神経科
Tokushima University Hospital, Department of Psychiatry
088-633-7128
https://tokushima-psychiatry.jp/

rTMS 治療適応チェックシート

はい の場合にチェックを入れてください。一つでもチェックが入らない場合は適応外です

※日本精神神経学会が定めるrTMS 適正使用指針を参考に作成

- ☐ 18歳以上である
- ☐ 頭蓋内金属やペースメーカーが入っていない
- ☐ てんかんの既往がない
- ☐ 妊娠していない
- ☐ 現在、軽症うつ病エピソードではない
- ☐ 現在、精神病症状をともなう重症うつ病エピソードではない
- ☐ 切迫した希死念慮がない
- ☐ 双極性障害（躁うつ病）ではない
- ☐ 同一のうつ病エピソードにおいて、過去に rTMS 療法を受けたことがない
- ☐ 明らかな認知症、器質性、症状性による気分障害ではない
- ☐ アルコール、カフェイン、違法薬物の乱用や離脱がない
- ☐ 以下に挙げる疾患を原因とした不安抑うつ症状ではない
  例：知的および発達障害、パーソナリティ障害、適応障害を含む神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害など

今回のうつ病エピソードで用いた抗うつ薬の用量と期間と効果（部分反応か無効か）

今回のうつ病エピソードで用いた増強療法があれば、その用量と期間と効果（部分反応か無効か）

これまでのうつ病エピソードで用いた抗うつ薬の忍容性に問題があれば、その詳細

（診療情報提供書内、もしくは右欄に記載）

徳島大学病院 精神科神経科
Tokushima University Hospital, Department of Psychiatry
088-633-7128 https://tokushima-psychiatry.jp/